

HOSODA NEWS RELEASE NO.2505

2013年10月1日

細田工務店、 高耐震+制振工法【ハイブリッドキューブ】を発表

～新開発の制振壁「延樹・ブランチ」(壁倍率5倍)を採用～

株式会社細田工務店(本社:東京都杉並区阿佐谷南三丁目35番21号、社長:阿部憲一)は、住宅性能表示制度の耐震等級で最高等級「3」を実現した高耐震6面体構造に、制振性能を加えた新しい工法【ハイブリッドキューブ】を発表しました。

【ハイブリッドキューブ】工法は、これまで標準としていた高い剛性を発揮する「6面体構造」に、壁倍率5倍の耐震性能を持つ制振壁「延樹・ブランチ」を併せて採用しています。これにより耐震等級「3」の耐震性能に加え、繰返しの大地震から住宅を守る制振性能が融合した工法を実現しました。

【ハイブリッドキューブ】工法では、株式会社住宅構造研究所と東京工業大学 笠井教授により共同開発された新商品「延樹・ブランチ」(2013年10月23日発表予定)を、一般発売に先駆けて採用いたします。

●制振壁「延樹・ブランチ」の特長

1. 鋼材ダンパーが地震エネルギーを熱エネルギーに変換し、繰返しの大きな地震に対して建物の変形を軽減できるため、建物の長寿命化がはかれます。
2. これまでの制振壁とは異なり、「壁倍率5倍」の耐力壁として初めて国土交通大臣の認定を受けた製品です。そのため、1枚の壁で制振性能と耐震性能を高いレベルで実現することができます。これにより、小規模な住宅でも開口部を充分にとりながら、バランスのとれた構造の設計が可能となります。

細田工務店では、これまでも株式会社住宅構造研究所と商品開発や研究において協力関係をもっており、すでに注文住宅、リフォーム事業において制振施工の実績を重ねています。

新工法【ハイブリッドキューブ】工法は、無垢の床が心地よい注文住宅<木こち 奎>より順次受注し、分譲住宅「グローイング・シリーズ」では本年12月着工の住宅より標準仕様として採用いたします。

細田工務店では、今後も良質な住宅の開発と提供に取り組んで参ります。

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社細田工務店 広報課(担当:北村)

E-mail: y.kitamura@hosoda.co.jp

電話:03-5397-7745

【「ハイブリッドキューブ工法」および
「延樹・ブランチ」の技術的なお問い合わせ先】

株式会社細田工務店 商品・技術開発課

(担当:松原・森)電話:03-5397-7752

暮らしをやさしくつむ家**細田工務店**

本社 / 〒166-8577 東京都杉並区阿佐谷南 3-35-21

高耐震 + 制振のハイブリッド工法

『ハイブリッドキューブ』

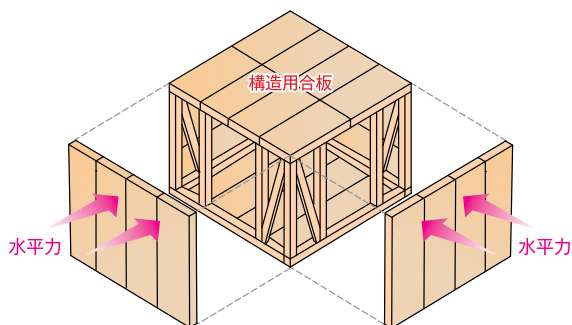
『ハイブリッドキューブ』工法は、細田工務店独自の高耐震6面体構造に、国土交通大臣の認定を初めて受けた壁倍率5倍の耐震性能をもつ制振壁「延樹・ブランチ」を採用した工法です。

この新工法は、これまでと同様の住宅性能表示制度（設計評価）で最高の耐震等級「3」の性能に加えて、繰返し発生する大地震に対して建物の変形を低減することができるため、損傷を軽減し建物の長寿命化につながります。

これまで標準としていた
高耐震工法



耐震性能をもつ制振壁
「延樹・ブランチ」



筋かい・火打ち梁に加え、壁・床に構造用面材を張ることで剛性を高めた、地震・台風などの水平力に強い『6面体構造』



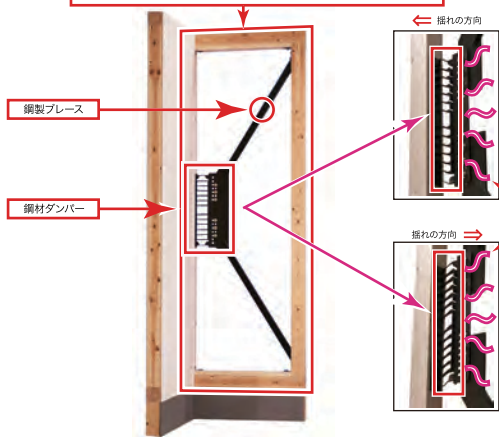
鋼材ダンパーが地震のエネルギーを熱エネルギーに変換して建物の変形を軽減

制振壁「延樹・ブランチ」の特長

高耐震 + 制振の性能を併せもつ住宅が、自由度の高い間取りで実現できます。

制振壁「延樹・ブランチ」は、1枚の壁で制振性能と耐震性能を発揮できるため、小規模な住宅においても窓などの開口部を十分に確保しながら、バランスのとれた構造の設計が可能になります。

鋼材製の制振装置を組み入れた
壁倍率5倍の制振壁「延樹・ブランチ」



鋼材ダンパーが地震の揺れを吸収して熱エネルギーに変換することで揺れを軽減します。

制振壁「延樹・ブランチ」は、(株)住宅構造研究所と東京工業大学 笠井教授により共同開発された新商品(2013年10月23日発表予定)で国土交通大臣の認定を初めて受けた「壁倍率5倍」の性能を持つ制振壁の新製品です。